

# 罪と赦しのはじまり

2012/1/22

～旧約聖書入門～

# 天地創造

## ▶ 1章

- 神は6日で天地の全てが創造された
- 人を「神にかたどって」創造された
- 神は7日目を休み、聖別された

## ▶ 2章

- アダムに対する命令
  - 「ただし、善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。」[2:17]
- エバの創造
  - 「人から抜き取ったあばら骨で女を造り上げられた」[22]

# 創世記3章：罪のはじまり

## ▶ 蛇にそそのかされた女

- エバはアダムから神の命令を聞かされていた
- 蛇に問われて、アダムに言われたとおり答えた
- 蛇は「決して死ぬことはない」「神のように...なる」と嘘をついてエバを誘惑した

## ▶ 女にそそのかされた男

- エバは「いかにもおいしそうな」その果実を食べた
- (何も起きなかったので?)アダムに渡し、アダムも食べた

# 罪の発展

- ▶ 自分を隠そうとしたアダムとエバ
  - 「目が開け」たが、自分たちの体を隠した
  - 主なる神の顔を避け、園の木の間に隠れた
- ▶ 責任転嫁

神

・ 取って食べるなと命じた木から食べたのか

男

・ **あなた**がわたしと共にいるようにして下さった**女**が、木から取って与えたので、食べました

女

・ **蛇**がだましたので、食べてしまいました

# 罪の結果

蛇

- ・「あらゆる野の獣の中で呪われるものとなった。  
お前は、生涯這いまわり、塵を食らう」

蛇と女

- ・「お前と女...の子孫の間に／わたしは敵意を置く。彼はお前の頭を砕き／お前は彼のかかとを砕く」

女

- ・「苦しんで子を産む」

女と男

- ・「お前は男を求め／彼はお前を支配する」

男

- ・「生涯食べ物を得ようと苦しむ」
- ・「塵にすぎないお前は塵に戻る」

# 赦しのはじまり

- ▶ 神に背いたアダムを神が探し、呼ばれた
  - 「主なる神はアダムを呼ばれた。『どこにいるのか。』」
- ▶ 神はアダムとエバに弁解の機会を与えた
  - 彼らは素直に罪を認めず、責任転嫁した
- ▶ 主なる神は、彼らを直ちに殺さなかった
  - 「善悪の知識の木からは、決して食べてはならない。食べると必ず死んでしまう。」[2:17]
- ▶ 「主なる神は、アダムと女に皮の衣を作って着せられた」→贖罪の型

# キリストによる回復

- ▶ 神の方から救いの手をさしのべた
  - 「言は肉となって、わたしたちの間に宿られた」
- ▶ 神は人間の悔い改めを今も待っておられる
  - 「その豊かな慈愛と寛容と忍耐」[ローマ2:4]
- ▶ 女の子孫によってサタンを砕かれる
  - 「平和の源である神は間もなく、サタンをあなたがたの足の下で打ち砕かれるでしょう。」[ローマ16:20]
- ▶ キリストという衣によって覆われた
  - 「わたしたちはこの御子において、その血によって贖われ、罪を赦されました。」[エフェソ1:7]

## 第2のアダムによる再出発

「死が一人の人によって来たのだから、死者の復活も一人の人によって来るのです。つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされることになるのです。」

[1コリント15:21-22]